



Servigistics SaaS サービス記述書

PTC の Servigistics SaaS の使用には、[SaaS 基本契約](#)（以下「本契約」といいます）の諸条件のほか、以下の追加の諸条件が適用されます。以下に定義されていない大文字の用語は、本契約で定義されている意味を有します。

はじめに

Servigistics SaaS オファリングでは、以下の異なるマーケットセグメントに対応した複数のサービスパッケージを提供しています。SPM SaaS オファリングの機能は重複しているため、お客様は、1つのパッケージのみ使用許諾されれば足ります（例えば、アドバンス版ではすべての Foundation 機能その他を含みます）。

オファリングに関する基本事項

各パッケージ及びアドオンの概要は下記のとおりです。

- **Servigistics SaaS SPM Commercial Foundation** – 米国連邦政府機関、航空宇宙及び防衛 (FA&D) を除く、ハイテク、医療、自動車、重機などの業種のお客様向けの基本 SPM パッケージ
- **Servigistics SaaS SPM Commercial Foundation+** – ハイテク、医療、自動車、重機などを含む非連邦、航空宇宙、防衛 (FA & D) のお客様向けのミッドレベル SPM パッケージ
- **Servigistics SaaS SPM Commercial Advanced** – FA&D を除く、ハイテク、医療、自動車、重機などの業種のお客様向けの高度なパッケージ。PMI に基づく Snowflake クレジットを含む（*下表参照）
- **Servigistics SaaS SPM Commercial Aviation Foundation** – 商用航空分野のお客様向けの基本 SPM パッケージ
- **Servigistics SaaS SPM Defense Foundation** – 政府機関及び PBL に基づくその他の企業を含む、防衛産業のお客様向けの基本 SPM パッケージ
- **Servigistics SaaS SPM FA&D Advanced** – FA&D 分野のあらゆるお客様（商用航空及び防衛）向けの高度なパッケージ。PMI に基づく Snowflake クレジットを含む（*下表参照）
- **Servigistics SaaS SPM Premium** – あらゆる業種のお客様向けの最上位 SPM パッケージ。PMI に基づく Snowflake クレジットを含む（*下表参照）
- **SaaS SPM PAI Advanced** – Advanced PAI 機能が必要であるが、Advanced パッケージのすべての機能が必要でない場合の FA & D 及び非 FA & D のお客様向けの Foundation 又は Foundation+ パッケージのアドオン。1,200 時間分のデータサイエンス／機械学習の年間利用時間を含む。PMI に基づく Snowflake クレジットを含む（*下表参照）
- **SaaS Servigistics Data Science/ML Usage 1,200/600** – データサイエンス／機械学習機能の 1,200 時間分の標準パフォーマンス向け又は 600 時間分のハイパフォーマンス向け年間利用時間の追加
- **SaaS Servigistics PAI Snowflake Usage (200 クレジット)** – PAI Advanced には追加で 200 の Snowflake クレジットを含む。

SPM ソリューションは SaaS として提供され、各パッケージは以下で規定する特定のオファリング機能セットを備えています。

Commercial Foundation	Commercial Foundation+	Commercial Advanced	Premium
<p>以下の SPM 機能の全範囲を含む:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Forecasting (予測) • Optimization (MEO) (最適化) • Order Planning (発注計画) • Last time Buy (LTB) (最終購入) • PAI Foundation • Global Part Chains (グローバルな部品調達チェーン) • Enhanced Supply Chain Modeling (拡張された部品調達チェーンモデリング) 	<p>Commercial Foundation PLUS:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Advanced Forecasting (高度な予測) • Advanced MEO (高度な MEO) • Advanced Order Planning (高度な発注計画) • History Based Simulation (履歴に基づくシミュレーション) 	<p>Commercial Foundation+ PLUS:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cluster Based LTB (クラスタに基づく LTB) • Local Part Chains (現地の部品調達チェーン) • Network Optimization (ネットワーク最適化) • Service Parts Pricing (サービス部品の価格設定) • Connected SPM (コネクティッド SPM) • PAI Advanced • データサイエンス／機械学習機能の年間利用時間** • Snowflake クレジット* 	<p>Commercial Advanced PLUS:</p> <ul style="list-style-type: none"> • AUO • K-Curve

Commercial Aviation Foundation	Defense Foundation	FA&D Advanced
<p>以下の SPM 機能の全範囲を含む:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Forecasting (予測) 及び Advanced Forecasting (高度な予測) • Optimization (MEO) (最適化) • Order Planning (発注計画) • Last Time Buy (LTB) (最終購入) • PAI Foundation • Global Part Chains (グローバルな部品調達チェーン) • Enhanced Supply Chain Modeling (拡張されたサプライチェーンモデリング) • History Based Simulation (履歴に基づくシミュレーション) 	<p>以下の SPM 機能の全範囲を含む:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Forecasting (予測) 及び Advanced Forecasting (高度な予測) • Optimization (MEO and AUO) (最適化) • Order Planning (発注計画) • PAI Foundation • Global Part Chains (グローバルな部品調達チェーン) • Enhanced Supply Chain Modeling (拡張されたサプライチェーンモデリング) • History Based Simulation (履歴に基づくシミュレーション) 	<p>Commercial Aviation Foundation PLUS:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Advanced Forecasting (高度な予測) • Advanced Optimization (MEO and AUO) (高度な最適化) • Advanced Order Planning (高度な発注計画) • Cluster Based LTB (クラスタに基づく LTB) • Local Part Chains (現地の部品調達チェーン) • Network Optimization (ネットワーク最適化) • Connected SPM (コネクティッド SPM) • PAI Advanced • データサイエンス／機械学習機能の年間利用時間** • Snowflake クレジット*

ライセンスプロファイル

SPM SaaS は、PMI、PXL 又は DAL の 3つの変数に基づき使用許諾されます。

PMI に基づくオファリングの場合、お客様用に、又はお客様によって最初にソフトウェアが導入された日の時点でソフトウェアに含まれていたインベントリの値（ソフトウェアで指定されているとおりにお客様によって割り当てられた値であり、インベントリの調達コストと一致しているもの。以下「ベースライン値」）によって、使用可能なライセンスの上限が決まります。100 万 US ドル（又は見積書／製品スケジュールで指定されるその他の該当する通貨）を 1 ブロックとしての販売となり、個々の発注の数量単位は、お客様のインベントリの 100 万 US ドル分に相当するものになります。発注書において、追加の制限事項（地理や地域など）が規定される場合があります。お客様は、要請に応じて隨時、ソフトウェアに含まれているインベントリの値を PTC に通知する必要があります。SPM システムに入力されるすべてのロケーションのすべてのパーツ（パーツとロケーションを乗算した値）が、状況（新規在庫、修理済み在庫、不良品在庫、受注済み、返品、修理中）にかかわらずインベントリと見なされます（予測数量、最適化数量、予定している供給／需要数量、修理数量、バランス調整済み数量など）。ソフトウェアで管理されているインベントリの値がベースライン値を下回った場合も、お客様は、少なくともベースライン値のライセンスを維持する必要があるものとします。管理されているインベントリの値がベースライン値を超えた場合、お客様は、超過分についてライセンスを取得する必要があるものとします。お客様は、他の企業を買収し、当該企業のインベントリをソフトウェアで管理しようとする場合、当該の事実を PTC に通知するものとし、両当事者は、ベースライン値（及び対応する料金）の増加について誠実に交渉するものとします。

PXL に基づくオファリングの場合、必要な PXL の数量は、お客様用に、又はお客様によって最初に本ソフトウェアが導入された日の時点で本ソフトウェアに登録されているパーツ番号の数と、本ソフトウェアに登録されている場所の数とを乗算した値によって計算します（以下「ベースライン値」）。例えば、前述を制限することなく、お客様が本ソフトウェアに 10,000 のパーツ番号及び 4 つの場所を含める場合、お客様は 40,000 の「PXL」を管理することになり、少なくとも 40,000 の「PXL」を購入する必要があります。本ソフトウェアの PXL の数がベースライン値を下回った場合も、お客様は、少なくともベースライン値と同数のライセンスを維持する必要があるものとします。本ソフトウェアの PXL の数がベースライン値を超えた場合、お客様は、超過分についてライセンスを取得する必要があるものとします。お客様は、他の企業を買収し、当該企業のインベントリを本ソフトウェアで管理しようとする場合、当該の事実を PTC に通知するものとし、両当事者は、ベースライン値（及び対応する料金）の増加について誠実に交渉するものとします。

DAL に基づくオファリング（Servigistics SaaS Retail Inventory Management (RIM) for OEM）の場合、ライセンスは、お客様が Servigistics オファリングへのログインを提供するディーラー割当ロケーション（Dealer Assigned Location : DAL）の数に基づきます。ディーラー割当ロケーションとは、お客様の製品を販売及びサービスパーツの在庫管理が行われる認定ディーラーの拠点を指します。DAL は住所によって識別可能です（すなわち、異なる住所はそれぞれ異なる DAL とみなされます）。当該ディーラーが Servigistics オファリングをお客様のサービスパーツの管理にのみ使用し、他の OEM のサービスパーツを管理するがないように、お客様自身がディーラーによる Servigistics オファリングへのアクセスを制限する必要があります。本オファリングの販売は PTC の承認に基づいて行われるものとし、PTC の独自の判断により、ディーラーを通じて販売しないお客様又はディーラーの数が少ないお客様には提供されません。

すべてのライセンスモデルに適用される第四の変数として、「パーツ／ロケーション・ペア (PLP)」があります。これは本オファリングの提供価格を直接決定する要素ではありませんが、価格に対する制約又は上限として機能する場合があります。

「PLP」は、システムに計画された保管ロケーションにあるパーツ／ロケーションペアの数量により定義されます。各パーツはネットワーク上又はヒエラルキーの中の 1 か所あるいはそれ以上のロケーションに計画されている可能性があります。SPM では、フォーキャスティング（予測）及びプランニング（計画）は、過去に使用されたロケーション（需要）又は将来的に使用されると見込まれるロケーション（予測）ごとに各パーツに対して行われます。PLP の総数はシステム処理及び環境サイズの要素となります。

許容されるコンフィグレーション

SPM SaaS オファリングは、追加的なコンフィグレーション、カスタマイゼーション及び統合機能をサポートします。カスタマイゼーション及び統合の場合、お客様は、PTC に対し、当該カスタマイゼーション及び統合のランタイムサポート、メンテナンス及びアップグレードに対して追加の Extended SaaS Service (ESS) 料金を支払わなければなりません。

PLP／データ権利

PMI を基に算出された価格については、購入されたパッケージに関係なく、在庫レベルに基づきシステム内で管理できる PLP の数に推奨された制限があります。また、PMI レベルごとにストレージの割り当てがあります。詳細は下表のとおりです。

ストレージとは、SPM、SPP、PAI、PAI Machine Learning を含む Servigistics ソリューションの全データベースに保存されているデータの総量をいいます。

	PMI (US ドル単位)				
在庫管理の数量 (100 万 US ドル 単位)	\$24 - \$49	\$50 - \$99	\$100 - \$199	\$200 - \$499	\$500+
PLPs	1,000,000 まで	1,000,001～ 3,000,000	3,000,001～ 9,000,000	9,000,001～ 16,000,000	16,000,000 超
ストレージ	350GB	700GB	1,000GB	1,750GB	3,000GB
**ML 利用時間	1200/600	1200/600	1200/600	1200/600	2400/1200
*Snowflake クレ ジット	200	200	400	400	600

バージョンサポート

本サービスには、PTC が本サービスへの適用を決定したニューリリース及び更新リリースのインストールが含まれます。お客様は、ニューリリース／更新リリースとの互換性を確保するため、カスタマイズ及び／又は統合を更新する責任を負うものとします。

PTC は、プラットフォーム全体にわたってサポートされるソフトウェア・リリースをお客様に維持させる権利を有し、また、プラットフォームに対して更新をインストールし、一般的な保守を行う権利を有します。お客様が現在リリースされているバージョンのソフトウェアを使用していない場合、PTC は本サービ

スを終了するか又は PTC が提供する本サービスの各月について追加料金（月単位で年間契約額の 30%を上限とする）を課すことができるものとします。

マネージドサービスをご利用のお客様は、現在有効な GOLDplus 又はそれ以上のサポート契約を締結していることが必要です。マネージドサービスのサポートは、お客様のソフトウェアの基本ライセンスが PTC サポートにおいて最新である場合に限り、適用されるものとします。

SaaS 延長サポートサービス

お客様が PTC によるお客様へのホスティングを希望する場合のカスタマイズについては、別紙 A に定める条件に従って、延長 SaaS サポートサービスを購入することができます。

規制対象業種

医療機器製造や軍事防衛オファーリング製造など、規制の対象となっている業界では、ソリューション環境へのアクセス、セキュリティ、変更を定義、追跡及び管理する目的上、又は FDA の妥当性確認に対応する目的上、独自の要件が存在する場合があります。PTC は、いくつかのオファーリングに関して、これらの要件の遵守を義務付けられているお客様をサポートすることができます。ただし、この種のサポートを受ける権利を明示的に購入いただくものとし、購入のない場合はサポートの対象外となります。PTC の米国連邦政府機関及び防衛産業向けアドオンオファーリングに適用される追加条件は、別紙 B に記載されています。

データのエクスポート

本サービス終了日が了知された後、お客様は、(1) 本サービス終了日に先立って、お客様の新システムへのデータ入力をテストする目的でのエクスポート、(2) 本サービス終了日の最終エクスポートという最大 2 回のデータエクスポートを要求できます。お客様は、当該要求が実行できるように PTC と調整するものとします。データのエクスポートには、現状のソフトウェアコンフィグレーションを別の環境に再展開する上で必要な情報が含まれます。各オファーリングで使用できるファイルの形式については、以下のオファーリング固有の項で規定します。

上で規定しているものを除き、データのエクスポート及びスナップショット（お客様が長期保管を必要としている場合など）は、標準の PTC オファーリングの構成要素としては提供されません。ただし、お客様は、追加料金を支払うことにより、標準では提供されないデータのエクスポートについて PTC と契約することができます。

PTC は、お客様のデータを最後の抽出時から約 30 日間保持します。この期間を過ぎたデータは破棄されます。この 30 日間の期間中は、アーカイブされたデータの複製 1 つをお客様からの要請に応じて提供できます。

購入されたソリューションによっては、データベーススキーマのエクスポート、Directory LDIF のエクスポート又は類似のユーザーリストのエクスポート、Enterprise LDAP LDIF のエクスポートコンテンツが含まれます。

バックアップ及び災害復旧

PTC は、事業継続及び災害復旧のベストプラクティスをサポートするため、包括的なデータバックアップ・ポリシーを維持しています。システムの完全バックアップは毎日行われ、地理的に冗長な（Geo 冗長）場所に保管されます。本番システムのバックアップは 30 日間維持され、非本番システムのバックアップは 7 日間保存されます。

大規模なサービス停止が発生した場合、PTC は影響を受ける顧客と協力して、災害復旧プロトコルを実施すべきかどうかを判断します。必要な場合、本番システムの復旧時点目標 (RPO) は 24 時間、復旧時点目標 (RTO) は 5 日間とします。非本番用システムは、すべての本番用システムが完全に復旧した後、可能な限り迅速に復元されます。

セキュリティ及びデータプライバシー

本サービスのセキュリティプログラムに関する情報は、[PTC トラストセンター](#) に掲載されています。

本サービスの一部として収集されるデータに関する情報は、<https://www.ptc.com/en/documents/policies> にあります。

別紙 A 拡張 SaaS サポートサービス条件

はじめに

ESS サービスは、本サービスと連携するお客様のカスタマイゼーション及びカスタム開発された統合（以下、総称して「カスタマイゼーション」）の展開（deployment）を提供するものです。これらのカスタマイゼーションの妥当性確認、修正、拡張、又は修復は ESS には含まれません。

ソリューションのスコープ

ESS の構成要素として、PTC は以下を提供します。

- アプリケーションのカスタマイゼーションのインストール
- カスタマイゼーションがインストールされていることの検証

ESS では、ビジネスユースケースの検証又は機能固有の検証は提供されません。また、カスタマイゼーションのトラブルシューティング又はデバッグは含まれません。PTC は、カスタマイゼーションに関連し、又はそれによって生ずる接続の問題又はダウントIMEについても責任を負いません。

オファリングに関する基本事項

- ESS については、カスタマイゼーションごとの契約となります。
- PTC は、カスタマイゼーションを拒否する権利を留保します。PTC は、カスタマイゼーションを拒否する場合、お客様のアップデートリリースの提供を可能にするため、お客様に理由を通知します。
- 以下の事項は ESS の構成要素に含まれないことに注意してください。
 - 問題の解決、又は新機能の導入に必要なコード変更
 - アップグレード又はメンテナンスリリース、又は標準サービスによる拡張機能を適用した後の、カスタマイゼーションの変更
 - データの修正
 - カスタマイゼーションの開発又はコンサルティング
 - カスタマイゼーションのモニタリング
 - PTC のホスティングするアプリケーション内に展開されないカスタマイゼーションに対するサービス
- お客様がカスタマイゼーションを更新した後、PTC は、更新の内容が既存のカスタマイゼーションに関する合意済みのスコープに収まっていることを確認するため、カスタマイゼーションを審査する権

利を留保します。当初に合意されたベースラインの範囲を超えてカスタマイゼーションが拡張されている場合、PTC は、拡張された範囲に相当する追加的な ESS 料金を請求できるものとします。

- PTC オファリングをアップグレードする場合、アップグレードするプロセスの進行中に問題が発見されたときは、お客様は、既存のカスタマイゼーションをアップグレードする責任を負います。

ソリューションサービスのモデル

ESS を利用するには、カスタマイゼーションごとに以下の構成要素の提供が必要です。

- ソースコード
- すべてのユースケースを対象とするテストプラン、テストケース、及びテスト結果

PTC は、セキュリティ上及びパフォーマンス上の問題点がないかどうか、ドキュメンテーション及びコードを分析します。PTC は、ソリューション、運用、又はセキュリティに関して、パフォーマンス、メンテナス性、及び持続可能性の面でカスタマイゼーションがリスクになると考えられる場合、カスタマイゼーションを拒否できるものとします。

別紙 B 米国連邦政府機関及び防衛産業向けアドオン諸条件

はじめに

PTC SaaS の米国連邦政府機関及び防衛産業向けオファリングは、自社のソリューションが米国連邦政府の ITAR、ITIL、DFARS、CMMC、FedRAMP、又は IL2/IL4/IL5 の認証を受けたサービスの要件に準拠することが義務付けられているお客様を対象としています。このオファリングは、場合によっては、基盤となる製品のアドオンとして販売されます。アドオン又は単体オファリングのどちらとして販売されるかにかかわらず、本書に記載の条項に加え、基盤となる製品の標準の契約条件が適用されます。矛盾が存在する場合、この米国連邦政府機関及び防衛産業向けオファリングに関する契約条件が優先されます。特定のソフトウェア製品バージョンを入手可能かどうかに関しては、PTC の通常のソフトウェアサポートのバージョンマトリックスとは異なる場合があります。

ソリューションのスコープ

米国連邦政府及び防衛産業向けオファリングは、標準のサービスパッケージとして入手できます。

- このサービスの構成要素としてホスティングされるソリューションは、義務付けられている規制に準拠して管理され、すべての必須のアップグレード及び修正は、認証された状態を維持する上で必要な場合に適用されます。変更の性質によっては、お客様は、PTC が設定する計画済みのメンテナススケジュールに沿って、当該変更のテスト、調整、及び受入への参加を要請することができます。当該変更には、ソリューションの全体的なコンプライアンス及び第三者製品との互換性を維持するため、PTC のソフトウェアをアップグレードすることが含まれる場合があります。

FedRAMP/IL2 向けの標準のオファリングには、以下の事項が含まれます。

- FedRAMP に関して PTC から提供される認証。PTC は、以下の規制に準拠して FedRAMP 認定を有効な状態に維持します。
 - サイバーセキュリティ成熟度モデル認証 (CMMC)
 - DFARS 252.204-7008 : 保護対象防衛情報の保護対策に関する統制への適合
 - DFARS 252.204-7012 : 保護対象防衛情報及びサイバーインシデント報告の保護対策
 - 米国防総省 (DoD) クラウドコンピューティングセキュリティ要求事項ガイド V1 R 3

- FAR 52.204-21：保護対象受託業者情報システムの基本的な保護対策
- 米国連邦情報セキュリティマネジメント法（FISMA）
- 米国連邦リスク及び認証管理プログラム（FedRAMP）
- NIST SP 800-171：米国連邦政府外のシステムと組織における管理された非格付け情報（CUI）の保護
- NIST 800-53 r4：米国連邦政府の情報システム及び機関に関するセキュリティ及びプライバシーの管理

IL4/IL5 向けの標準のオファリングには、以下の事項が含まれます。

- DoD 向け SaaS のお客様環境について、PTC は、その時点で有効なバージョンの DISA クラウドコンピューティングセキュリティ要求事項ガイド (SRG) に準拠して妥当なクラウドコンピューティングサービスを提供するため、並びに以下の規制に適合するため、有効な米国国防情報システム局 (DISA) 認定の要件に従った妥当な水準を積極的に維持します。
 - DFARS 239.76 : クラウドコンピューティング
 - DODI 8510.01 : 米国防総省の情報技術に関するリスク管理フレームワーク (RMF)
 - 米国防総省クラウドコンピューティングセキュリティ要求事項ガイド V1 R 3
 - 米国防総省セキュリティ技術実装ガイド (STIG)。サービスの提供において、PTC は以下のアクセス制限を遵守します。
 - 管理された非格付け情報 (CUI) にアクセスするのは、(1) 米国の現行の国家機密事項取扱許可 (少なくとも暫定的な身元調査を受けること)、(2) 照会を伴う国家機関身元確認 (NACI)、又は (3) お客様に提出され、米国政府により承認されている身元調査制度に従った身元調査で申し分のないこと、のいずれかを満たす米国人のみに限定されなければならない。
 - 米国の有効な国家機密事項取扱許可を持つ (少なくとも暫定的な身元調査を受けた) 二重国籍の人物については、管理された非格付け情報 (CUI) へのアクセスを許可され得る。米国の有効な国家機密事項取扱許可を有さない (暫定的な身元調査又はより厳格な調査を受けていない) 二重国籍の人物は、お客様に要請が提出され、要請がお客様によって書面で承認されない限り、CUI へのアクセスを認められない。

オファリングに関する基本事項

米国連邦政府機関及び防衛産業向けオファリングについては、以下の条項で PTC の誓約事項及び管理手順を規定します。

- PTC の SaaS サービス事業部門 (以下「PTC SaaS サービス」) は SaaS CSP であり、FedRAMP 認定では Moderate ベースラインのインパクトレベルとされています。この詳細については、FedRAMP.gov を参照してください。
- PTC SaaS サービスは、DFARS 252.204-7012 及び CMMC で要件とされているすべての NIST 800-171 セキュリティ管理要件を満たしています。
- PTC SaaS サービスは、FedRAMP 認定及び米国防総省認定を取得済みの第三者評価機関 (3PAO) により年次監査を受け、FedRAMP の Moderate ベースライン及びその時点で有効なバージョンの DISA SRG を遵守していることが確認されています。
- PTC SaaS サービスは、サイバーインシデントの報告、悪意のあるソフトウェア、媒体の保全及び保護、フォレンジック分析に必要な追加の情報及び機器へのアクセス、並びにサイバーインシデントの損害評価に関して、DFARS 252.204-7012(c)-(g) の要件を遵守します。
- PTC SaaS サービスは、PTC の FedRAMP 及び DoD クラウドでホスティングされるすべてのデータが、米国、米国の地区、地域、及び遠隔地内に常に維持されることを保証し、したがって、いかなる時点でもデータが米国の管轄区域内に維持されることを保証します。
- 重要機密と分類される DoD CUI に職務上アクセスするすべての PTC 従業員又は正当な権限を持つ第三者は、米国市民であり、かつ、高リスクに関する十分な単一範囲身元調査 (SSBI) 又はその他の身元調査に服します。

- 中程度のリスクと位置付けられるか非重要指定と分類される DoD CUI に職務上アクセスするすべての中程度のリスクと位置付けられるか非重要指定と分類される DoD CUI に職務上アクセスするすべての PTC 従業員又は正当な権限を持つ第三者は、米国市民であり、かつ、米国国家機関法執行及び信用調査（NACLC）又は同等の調査に服します。

以下の事項は、お客様の責任となります。

- お客様は、米国の現行の国家機密事項取扱許可又はその他の認可を受けていて正当な権限を持つ人物のみが、必要に応じて本サービスへのアクセス権を付与されることを保証する責任を負います。
- お客様は、本サービスの性質上、これらのシステムに保持されるデータが妥当なものであることを保証する責任を負い、PTC は、お客様の職員又はデータに関して、妥当となるアクセスポリシーを決定する責任を負いません。例えば、制限なく、PTC の本サービスは機密とされる情報又は文書に適しておらず、かつ、そのような情報又は文書がサービスに含まれていないことを保証するのはお客様の責任となります。